

現状(1): 地域別移住実績(単位:組)

※H30.7月末時点 ()内は前年同期の移住実績

移住実績(7月末)

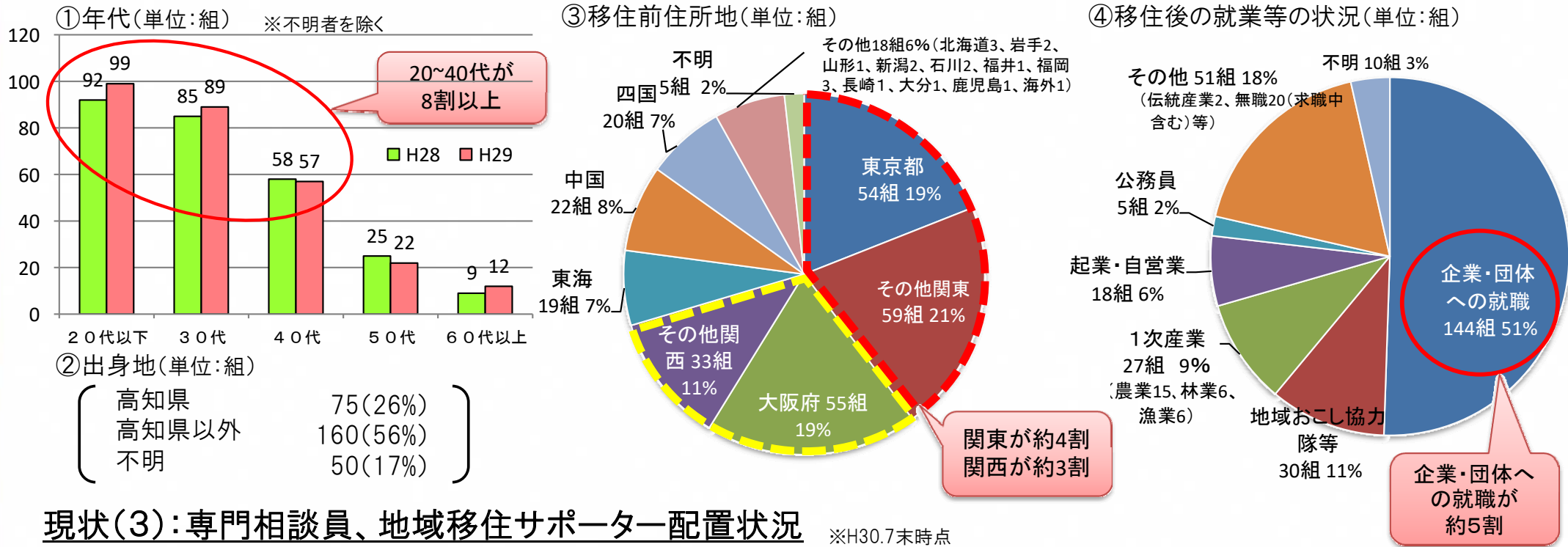
377組535人

対前年同期比127%

※移住先地域不明者
(69組75人を含む)

安芸地域 56組77人 (44組55人)	物部川地域 28組55人 (25組42人)	高知市地域 63組99人 (59組81人)	嶺北地域 14組25人 (23組34人)
仁淀川地域 24組37人 (29組48人)	高幡地域 43組55人 (46組59人)	幡多地域 80組112人 (75組99人)	

現状(2): 移住者の属性 (H29年度県の窓口を通じて、移住された方の実績「285組」の内訳)



現状(3): 専門相談員、地域移住サポーター配置状況

※H30.7末時点



専門相談員の配置

28市町村



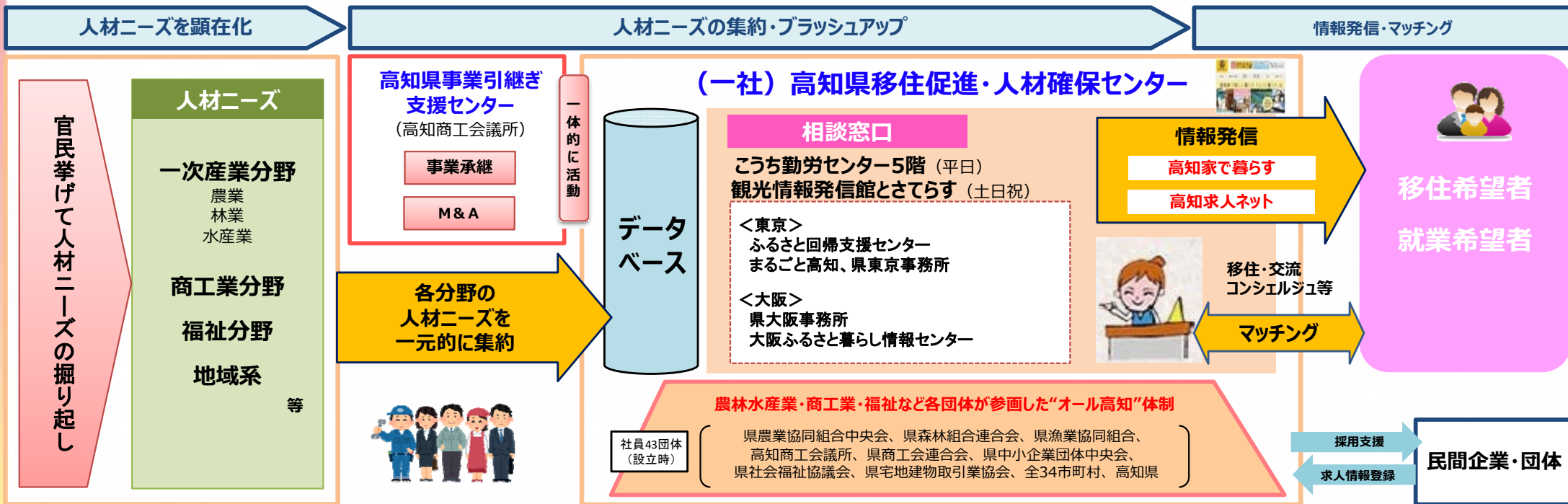
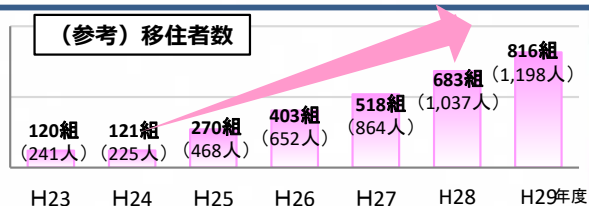
地域移住サポーターの配置

21市町村110人

高知県移住促進・人材確保センターによる移住促進・人材確保の取り組みの一体的な推進

◆ 第3期産業振興計画に掲げた移住者数年間1,000組の達成と定常化を目指し、「高知県移住促進・人材確保センター」を開設
3つの強化のポイントにより、「オール高知」体制で移住促進と人材確保の取り組みを一体的に推進
(平成29年10月17日)

- ① 官民挙げて人材ニーズを掘り起こす体制を構築し、潜在的な人材ニーズを顕在化
- ② 人材ニーズを一元的に集約し、都市部人材に発信するとともに、希望に応じた多様な働き方や移住プランを提案
- ③ 移住相談・人材確保を担うスタッフを育成



センターの業務内容 (概要)

1 移住・就業相談

高知県へのU Iターンを検討される方々に対して、しごとや住まいを含む生活関連の情報提供を行うとともに、移住プランの提案などを行う

- 移住・しごと・暮らしなど総合相談窓口の運営 (高知、東京、H30～大阪)
- 無料職業紹介事業の実施
- 市町村等と連携した相談対応
- 多様な働き方や移住プランの提案 など

2 人材マッチング

各産業団体等と連携して人材ニーズを掘り起こし、集約した人材情報をもとに求職者と働く場のマッチングを促進する

- 各産業団体や産業振興センター等と連携した人材ニーズの掘り起こし
- 関係機関と連携した人材ニーズの集約と求職者とのマッチング
- 専門的なスキルを持った都市部人材の誘致
- 高知県事業引継ぎ支援センターと連携した後継者人材マッチング支援 など

3 情報発信

高知ならではの働き方や暮らしの魅力を全国に向けてタイムリーに発信するほか、住まいや求人企業の情報提供を行う

- ポータルサイト (高知家で暮らす、高知求人ネット) の運営
- メールマガジンやSNSなどメディアを活用した情報発信
- 移住希望者向け会員制度の活用 (高知家で暮らし隊会員) など

4 イベント事業

都市部における高知県へのU Iターン相談会の開催や、市町村や地元企業と連携した移住体験ツアー等を実施する

- 都市部における移住や就職に関する相談会の実施 (高知暮らしフェア等)
- 地元企業への訪問や地域と交流する移住体験ツアーの実施 など



5 人材育成

計画的な研修の実施等により、県内全域で移住相談対応のレベルアップを図る

- センター職員のスキルアップ研修
- 市町村移住相談員等を対象とした研修会の実施 など



Uターン対策の強化

ポイント

- ◇高知出身で、県外で活躍されている皆様へ、高知県の仕事の情報等を積極的に提供
- ◇高知県内にいる家族、友人の方からの声かけが有効
⇒ **県内向けの広報・周知が重要**

高知へのU・Iターンを考えている方、ご家族・ご友人の皆様へ

高知県へのUターン、Iターンを考えている方がいらっしゃれば、ぜひ、「高知県移住促進・人材確保センター」をご紹介します。

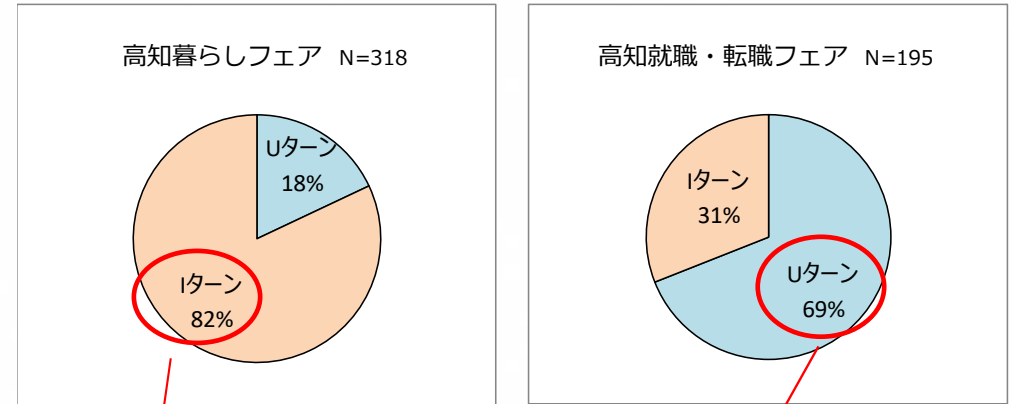
- ✓ センターは、県、市町村及び関連団体が参加した**「官民一体の組織」**です
- ✓ 高知への**年間U・Iターン者 1,000組を目指して**、取り組んでいます
【U・Iターン者は H24 121組⇒H29 816組 約7倍に増えています】
- ✓ 高知の仕事のこと、暮らしのこと、なんでもご相談ください。専門スタッフが、相談者の**希望に応じた働き方や、移住プランを提案**いたします。
ぜひ、センターをご紹介します。

[参考]

「高知暮らしフェア」「高知就職・転職フェア」のアンケート集計結果／比較表 (H30年度)

	高知暮らしフェア	高知就職・転職フェア
東京会場	189組260人	83組91人
大阪会場	181組246人	112組138人
合計	370組506人	195組229人
1組あたりの平均訪問ブース数	2.08件	3.24件

1、来場者／出身地



2、イベントを知ったきっかけ(上位3位) ※複数回答

